

神奈川県民ホールにて開催の【特別版】、豪華ソリスト・曲目で華麗にお贈りします！

華麗なるコンチェルト・シリーズ2021【特別版】第2回

チャイコフスキー 3大協奏曲



上野 通明



川久保 賜紀
©Yuji Hori



上原 彩子
©武藤 章

ロココの主題による変奏曲 イ長調 op.33

チェロ：上野 通明 (2009年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール優勝)

ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35

ヴァイオリン：川久保 賜紀 (2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位)

ピアノ協奏曲 第1番 変口短調 op.23

ピアノ：上原 彩子 (2002年チャイコフスキー国際コンクール優勝)

2021 8月28日

(土)午後2時開演

(午後1時開場 / 4時30分終演予定)

神奈川県民ホール

指揮：岩村 力

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

上野 通明 (チェロ)
Mitchiaki Ueno, cello

バラグアイに生まれ、幼少期をスペイン、バルセロナで過ごす。

第6回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールに13歳で日本人初の優勝。第6回ルーマニア国際音楽コンクール最年少第1位、ルーマニア大使館賞、ルーマニアラジオ文化局賞を併せて受賞、第21回ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝、第11回ヴィルト・ルトスワフスキ国際チェロコンクール第2位。

これまでにソリストとしてワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、ロシア交響楽団、シリア国立室内管弦楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等、国内外のオーケストラと多数共演。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHKBS「クラシック倶楽部」、NHKFM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。ジャンギャン・ケラス、ダニエル・ゼベック、ホセ・ガジャルド、堤剛、諏訪内晶子、伊藤恵等、著名なアーティストと共演し好評を博す。宗次エンジェル基金、江副記念リクルート財団奨学生。岩谷時子音楽文化振興財団より Foundation for Youth、岩谷時子賞奨励賞、京都青山音楽賞新人賞受賞。これまでに故馬場省一、イニャキ・エチェバレ各氏、桐朋学園大学 SD 全額免除特待生として毛利伯郎氏に師事。2015年よりピーター・ウィスベルウェイに招かれ渡独、彼の指導の下更なる研鑽を積み、主にヨーロッパと日本で積極的に演奏活動を行なっている。使用楽器は1758年製 P.A.Testorel(宗次コレクション)

川久保 賜紀 (ヴァイオリン)
Tamaki Kawakubo, violin

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2002年チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞以来、クラシックから現代まで、幅広いレパートリーを手がけ、国内外でリーディングソリストとして活躍を続けている。

若くして、主要な北米オーケストラと共演し、豊富なステージ経験を積む。日本では1997年、チョン・ミョンファン指揮アジア・フィルのソリストとしてデビュー。以後、国内外様々なオーケストラと共演を重ね、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。近年は小管優とのデュオでドイツ・ツアーを行い、またワシントンなどで自ら企画するコンサートを行うなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮、リサイタルだけではなく室内楽にも積極的に取り組み、究極のアンサンブルを追求し続けている。近年では、欧米での活動と並行し、国内ではP. ヤルヴィ / N響、P. インキネン / 日フィル、小泉和裕指揮 / 都響、鈴木優人指揮 / オーケストラ・アンサンブル金沢など国内主要オーケストラとの共演のほか、小管優とのソロ & 室内楽プロジェクト、遠藤真理と三浦友理枝とのトリオでの活動も行い、幅広く展開している。

後進の指導にも積極的に取り組み、2018年より桐朋学園大学院大学(富山校)教授に就任。5歳の時にヴァイオリンを始め、R. リブセット、D. デレイ、川崎雅夫、Z. ブロンの各氏に師事。

オフィシャル・ホームページ：

<http://www.tamakikawakubo.com/>

上原 彩子 (ピアノ)
Ayako Uehara, piano

3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、江口文子、浦壁信二各氏に師事。第3回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクール A 部門第1位を始め多くのコンクールで入賞を果たす。2002年6月には、第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュトワ指揮 NHK 交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「上原彩子のくすみ割り人形」「ラフマニノフ 13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト & チャイコフスキー」がリリースされている。2006年1月10日には「日本におけるロシア文化フェスティバル2006」オープニング・ガラコンサートでゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団と共演、また、2008年9～10月にはクリスチャン・ヤルヴィ指揮ウィントーン・キュンストラ管弦楽団とのオーストリア及び日本ツアーを行ない、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エアラ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター准教授。

オフィシャル・ホームページ：

<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>

岩村 力 (指揮)
Chikara Iwamura, conductor

早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスタープレイヤーズ指揮者コンクール優勝ほか、数多くのコンクールにて入賞。これまでにハンガリー響、N響等内外のオーケストラを指揮し高い評価を得ている。また07年にはアルゲリッチの要請により、イタリア / コルティナにてパドヴァ室内管弦楽団と共演し国際的に活躍。11年以降は国内オーケストラの定期演奏会にて、日本人作曲家の作品を取り上げ高い評価を博す。2015年、兵庫県労務表彰(文化功労)受賞。2000-07年 NHK 交響楽団アシスタントコンダクター。2010年より兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター。



©Naoyasu Uema

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
Kanagawa Philharmonic Orchestra

1970年に発足。地域に密着した音楽文化の創造をミッションとして、神奈川県全域をはじめ、全国各地で幅広い活動を行っている。1978年に一般財団法人、2014年には公益財団法人として認定されている。横浜を中心とする定期演奏会などの主催公演に加えて、県内各地で地域との協力による特別演奏会を開催。音楽教育にも積極的に、小中学校での音楽鑑賞教室を全国各地で開催し、0歳からのコンサートなど広い世代に音楽の魅力を伝え、神奈川フィルの支援者を増やす取り組みを行っている。現在、指揮者陣には、名誉指揮者に現田茂夫、特別客演指揮者に小泉和裕、常任指揮者に川瀬賢太郎を擁している。2020年には創団50周年を迎えて、実力、人気ともに、益々注目されているオーケストラである。
ホームページ <https://www.kanaphil.or.jp>
Twitter @kanagawaphil